

☆公害による健康被害を許すな!
 ☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



モズ
画 橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9
 高田ビル 〒554-0012
 TEL 06-6463-8003
 FAX 06-6463-8202
 oskougai@coast.ocn.ne.jp
 発行責任者 芹沢 芳郎
 年間購読料一部2,000円(送料共)
 郵便振替 00910-7-300387

なくす会 09年度方針を決定

6月11日午後6時30分から大阪民医連会議室で開催された第30回総会は、41名の参加で09年度の活動方針、予算を決定し、33人の新幹事を選出しました。

世界から批判続出の「中期目標」

開会あいさつにたった岩本副会長は政府が発表した05年比15パーセント削減の「中期目標」は基準年をずらすなどの「ごまかし」で世界中から猛烈な批判を浴びており、12月のCOP15



大阪から公害をなくす会
第30回総会
2009年6月11日

生存権がかかった重要な年

にむけて「公害をなくし、環境を良くしよう」とする私たちの運動と責任はますます重要になってきていると訴えました。

09年度活動方針、決算・予算、役員体制が一括して芹沢会長から報告・提案されました。アスベスト裁判、あおぞらプロジェクト、寝屋川廃プラ裁判など「生存権をかけた」たたかいの重要な年であると同時に温室効果ガス削減の国際基準を策定するCOP15は地球の存続の鍵をにぎるものであり、09年という年は「環境運動」にとって歴史的な年であると指摘し、課題別活動の具体化を提案し「粘り強い住民運動」で環境悪化に歯止めをかけようとよびかけました。

地域からの地道な運動と情報・政策の発信で運動の展開を

提案をうけ患者会の「PM2.5の規制基準の早期策定をもとめ



ら公害をなくす会
第30回総会
2009年6月11日

る運動」、東住吉の「住民参加で道路計画跡地の利用」、あおぞらプロジェクトの「未認定、未救済患者の救済に向けたアクションシート活動」、測定研の「継続したNO₂測定で行政の監視が重要」吹田御旅町の「産業廃棄物施設建設反対の取り組み」(文書発言)市民ネットワークの「財界の意見広告に対して批判を集中しよう」の発言に加え、議長左海さん(府職労)から「橋下府政の環

6月活動日誌

- 1日(月)～2日(火) 公害デー総行動
- 2日(火) 編集委員会
- 4日(木)～5日(金) NO₂測定
- 5日(金) 泉南アスベスト国家賠償裁判勝たせる会幹事会
- 10日(水) アスベスト裁判
- 11日(木) 大阪から公害をなくす会総会
- 13日(土) 大阪自治体問題研究所総会
- 16日(火) あおぞらプロジェクト事務局団体会議
- 17日(水) 大阪自治研第1回実行委員会
- 24日(水) アスベスト裁判・団体代表者会議
- 29日(月) アスベスト対策センター
- 30日(火) あおぞらプロジェクト学習会

境行政後退の実態」も報告され議案はすべて満場一致で決定されました。

次に総会特別決議として「大阪の空は本当にきれいになったのか? 大気汚染状況に対する私たちの見解」を採択しました。

閉会あいさつで金谷副会長は「マスコミ情報に惑わされず、数ある情報を自分たちの頭で分析し、行動する力を身につけることが大切だ。要求から行動へ、行動によって政治や社会を変えていくことを皆で確認しましょう」と結びました。